

# 社会科マニフェスト

社会科は「今」を生きるための知識を得る教科です。地理は今の生活の場を学び、歴史は過去の生活の場を学び、公民は今のシステムを学ぶ科目なのです。

「歴史は過去を学ぶ。」と言われても、何で過去を学ばなければならないのかと疑問を持つ人もいるでしょう。社会科では歴史を学ぶ意義として、「過去を学ぶことで、現在を見抜き、未来を見通すためである。」と考えます。

社会科を学んで、「今」を生きる力を獲得しましょう。

## **Mission 1 生徒のやる気を引き出します。**

中学では学年の該当科目に応じて、「地理新聞」・「歴史新聞」・「公民新聞」を作成させ、生徒の興味・関心を引き出すような授業を展開します。また、高校でも各自で設定したテーマに沿って調査・研究をしてレポートさせ、探求力や創造力を養う指導を行います。

## **Mission 2 社会で役に立つ人材を育てます。**

「コミュニケーション能力」や「問題解決能力」など、社会に出てから必要な力を教科の学習を通じて身に付けさせます。具体的には、ディスカッションによる意見交換や時事問題について生徒の意見を聞きながら、現状分析をしたり問題点を探ったりしていきます。

## **Mission 3 難関大学合格に向けて実力を養います。**

中学・高校ともに小テストや単元テストを実施し、合格点を取るまで再テストを続けます。これにより、基礎力をつけ、難関大学合格の下地をつくることができます。また、大学受験を見据えてオリジナルプリントを使った授業を展開し、これに沿ってまとめノートを作成させ、知識の把握と整理を行わせます。さらに、大学入試の過去問を数多くこなすことで、実践力を養う指導も行っていきます。